

「新之助」生育速報 No. 4

平成29年6月29日
村上農業普及指導センター

1 生育調査ほ・実証ほにおける生育状況（6月29日現在）

生育概況

草丈:短い 茎数:やや多(葉齢比) 葉数:遅れている 葉色:並

○生育は、葉令が遅れているが茎数は順調に確保されている。

○草丈は短く、茎数と葉色は、地域差がある。

○新之助生育調査ほ・実証ほの調査結果(6月29日現在)

調査場所	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD)
関川村上関(関川)	5月19日	31	460	9.3	38.4
村上市牛屋(神林)	5月15日	30	528	9.9	36.2
村上市十川(朝日)	5月15日	33	556	9.1	39.7
平均	5月17日	31	515	9.4	38.1
指標値	5月15日	38	580	10.6	36.5
【参考:前年平均】	5月17日	39	556	10.6	37.4

2 今後の技術対策

当面の管理のポイント

◎中干し・溝切いの管理

- ・中干しを継続し、出穂の1か月前(7月15日頃)には終了する。
- ・中干し終了後は間断かん水とし、幼穂形成期以降は飽水管理とする。

◎いもち病対策

- ・明日からの週間予報では、気温が高く、曇りや雨の日が多いことから、いもち病の感染が心配されます。
- ・いもち病に対しては、常にほ場をよく観察し、発病を認めた場合には、直ちに防除する。
- ・特に常発地では、箱処理剤の効果が低下してくるので、水面施用剤の散布等の予防対策を行う。

◎カメムシ対策

- ・本日、県病害虫防除所から発表された斑点米カメムシ類の発生状況は、下越でアカスジカメムシの発生が平年より多いとなっている。
- ・カメムシ類の住み処をなくすため、農道・畦畔の定期的な草刈りと本田内のヒエやホタルイなどの雑草を取りこぼさない。